

システムキッチン 取扱説明書

SHシリーズ

もくじ

安全上のご注意 P.2

ご使用方法
(ベースキャビネット) P.4

ご使用方法
(吊戸棚) P.6

ご使用方法
(シンク) P.7

お手入れ方法 P.9

調整方法 P.11

お問合せ P.13

このたびは、ファーストプラス システムキッチンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(P.2~4)はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

■お買上げになられました商品とこの説明書の内容とは、機種・間口などにより、仕様が異なることがあります。予めご了承ください。

■転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書及び据付説明書、キャビネットやビルトイン機器に付属の説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しください。

1 安全上のご注意（必ずお守りください）

この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。



この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または傷害を負うことが想定される危害の程度」をいう。



この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が負傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し、説明しています。



必ず守る

このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



禁止

このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



- 組込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの説明書及び製品本体の表示事項をお守りください。



使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となることがあります。

- 調理器具の使用後やお出かけのときは、スイッチを「切」にしてください。



周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。

- 調理機器の上や周りには、燃える物を置かないでください。

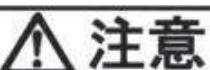


スイッチの切忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。

- 絶対に改造・分解・修理をしないでください。



火災、感電、破損、水漏れ、ケガの原因になります。



- てんぷら油等の油類や熱湯を、直接排水口に流さないでください。



流水の流れが悪くなったり、排水金具などが変形し、水漏れの原因となることがあります。

- 扉が傾いたり、ガタついているときは、蝶番を確実に取付けてください。



扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

※蝶番の調整方法は、P.13をご覧ください。

- 調理機器の使用中、使用直後は、調理機器に手をふれないでください。



- 棚板の棚受けは、前後・左右で異なりますので、指定のものを確実に奥まで差込んでください。



棚板が落下してケガをするおそれがあります。

※棚板のセットのしかたは、P.7をご覧ください。



調理機器周辺の表面温度は高くなっているので、ヤケドのおそれがあります。

- 扉を大きく開けすぎないでください。



扉がはずれて、ケガをするおそれがあります。



- 扉や取っ手、引出しにぶら下がらないでください。



扉や取っ手、引出しがはずれて、ケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 棚板やスライド収納には、許容積載量以上載せないでください。

必ず守る 載せているものが落ち、ケガをするおそれがあります。

- スライド収納に過度の荷重をかけたり、踏み台代わりに乗ったりしないでください。



禁止 転倒や破損の原因となります。

- 包丁ラップ収納に、扉の開閉に支障をきたす形状の包丁は収納しないでください。扉を閉めるときは、包丁が確実に納まっているか確認して閉めてください。

禁止 包丁ラップ収納が壊れたり、中の包丁が落ちてケガをするおそれがあります。

- 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使用したり、近づけたりしないでください。

禁止

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因となります。保管の場所や方法に十分注意してください。他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよんでお使いください。

※ 塩素系ヌメリ取り剤について

塩素系のヌメリ取り剤は、水分に反応して塩素系のガスを発生します。このガスはヌメリ取りに効果ありますが、ステンレスなど金属をさびさせたり、ゴムを劣化させます。

- 扉キヤッチ機構のロック作動時に、扉を無理にあけないでください。

禁止 ラッチの誤作動や、フックが変形して扉がピッタリ閉まらなくなります。

- 電球や蛍光灯は指定のワット数と形状のものを使いください。

必ず守る ワット数と形状が異なると火災のおそれがあります。

- 包丁ラップ収納にぶら下がったり、強く揺すったりしないでください。



禁止 包丁ラップ収納が壊れて落ちたり、収納した包丁が落ちてケガをすることがあります。

- 包丁ラップ収納の扉を強い力で開閉しないでください。



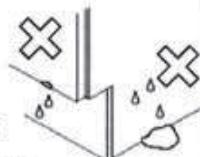
禁止 衝撃で包丁ラップ収納が壊れたり、中の包丁が落ちてケガをするおそれがあります。

- 水受けトレイや引出しトレイ等、樹脂製のものを食器洗乾燥機に入れないでください。

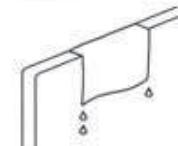
禁止 変形するおそれがあります。

- キャビネットや扉がぬれたら、すぐに拭きとってください。

禁止 ぬれたまま放置するとふくれやはがれの原因となります。



- エンドパネルにぬれた布等を掛けないでください。



禁止 ぬれたまま放置するとふくれたり、はがれたりするおそれがあります。

- 廃棄処分の際は、必ず許可を受けている業者に処理依頼してください。詳しくは、販売店へご相談ください。

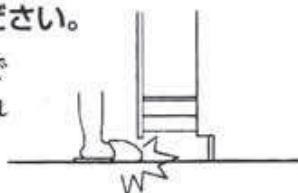
必ず守る

! 注意

- 扉やスライド収納の開閉は、足元に注意して行ってください。



足をはさみ込んでケガをするおそれがあります。



- 蝶番周辺は触らないでください。特に小さなお子さまが、蝶番に触れないようご注意ください。

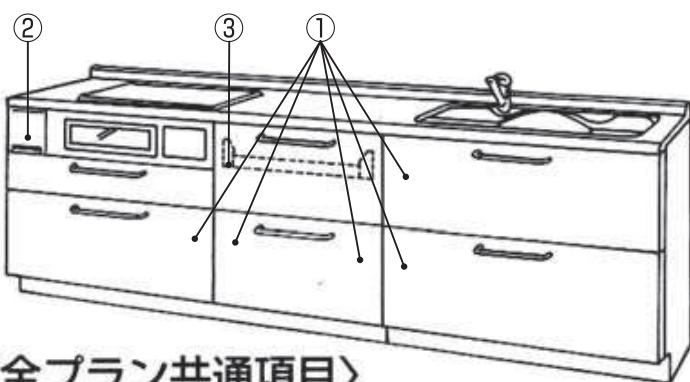


扉の開閉時に指をはさみ、ケガをするおそれがあります。

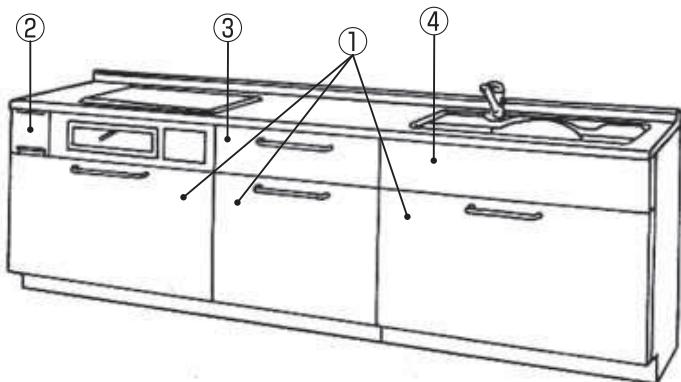


2 ご使用方法（ベースキャビネット）

<type-W>



<type-S>

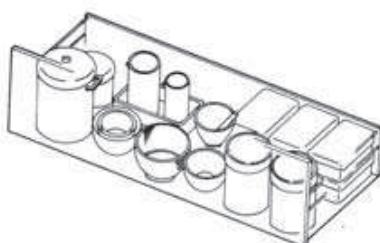


〈全プラン共通項目〉

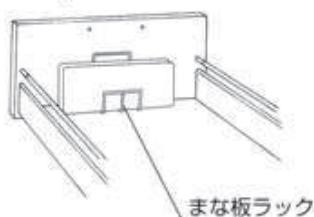
① スライド収納

〈シンクキャビネット〉

水周りで使うボウルやザル、水を入れてから火にかける大鍋などを収納しておくと便利です。

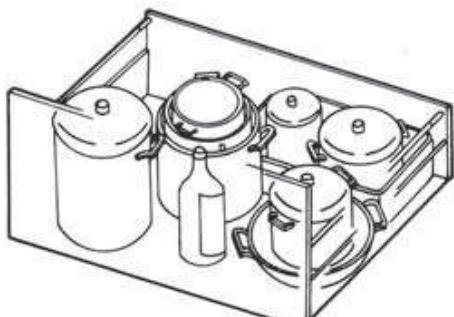


キャビネット内にまな板をたてて置くことができるまな板ラック付です。
(type-Wのみ)



〈コンロキャビネット〉

コンロ周りで使う、大きな鍋やフライパン、サラダ油などを収納しておくと便利です。



〈調理キャビネット〉

調味料ボトル等の収納に便利です。

①・③の引出し

許容積載量 15kg

※スライド収納、調理引出しの取外し、取付け、調整方法についてはP.10をご覧ください。

② 小引出し

コンロの横についている小引出します。

調味料などを収納していくと、調理の時、サッと使って大変便利です。

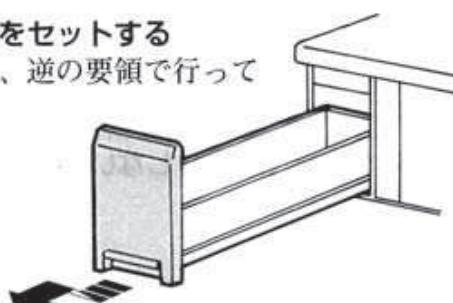
● 引出し本体を引抜く

引出し本体を引きった後手前を持ち上げて、抜いてください。

● 引出し本体をセットする

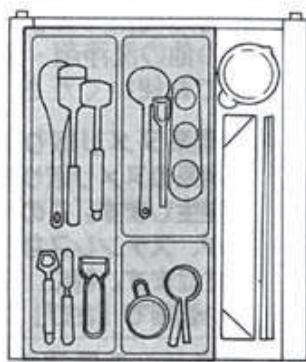
引抜く時と、逆の要領で行ってください。

許容積載量
5kg

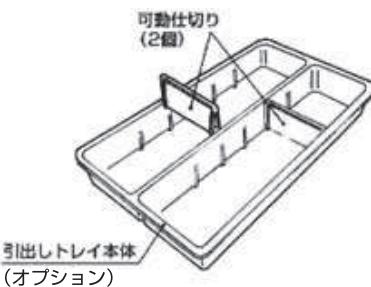


③調理引出し

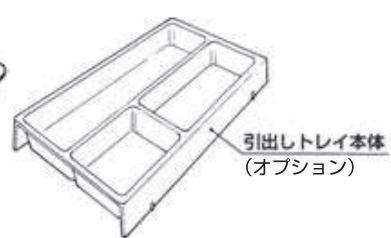
普段よく使う計量カップやレードル類の収納に便利です。



[Vレールの場合]

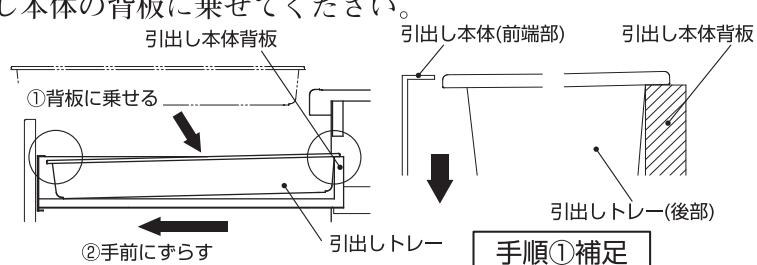


[S・Yレールの場合]



[Vレール内引出しへの引出しトレーの出し入れ]

- ①右図を参考に引出しトレー後部の先端を引出し本体の背板に乗せてください。
- ②引出しトレーの前側を引出し本体にセット
した後、引出しトレーを手前にずらして後
部先端を引出し本体の中に入れてください。
- ③取り出す場合、逆の要領で行ってください。

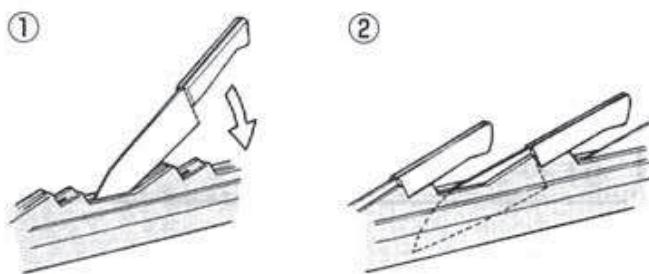


④包丁フラップ収納 (オプション) (type-S)

取出しやすいシンク前の幕板部分に、4本の包丁を収納できます。包丁差しは取外して丸洗いできます。

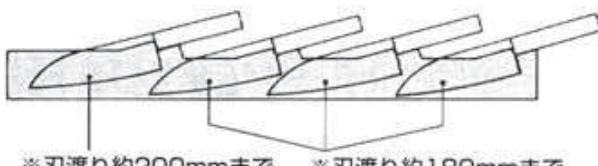
● 包丁の入れ方

包丁差しの溝に沿って刃先から包丁を差込み図
②のように確実にセットしてください。

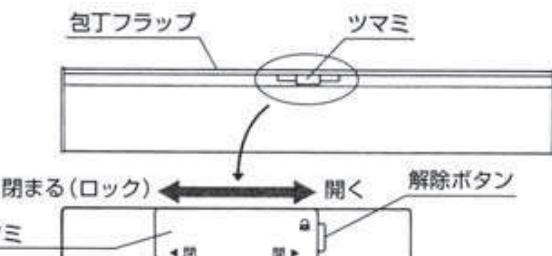


※包丁のサイズや形状によって扉が閉まらなかったり
包丁が入らない場合があります。扉の開閉に支障を
きたす形状の包丁は、収納しないでください。

参考寸法

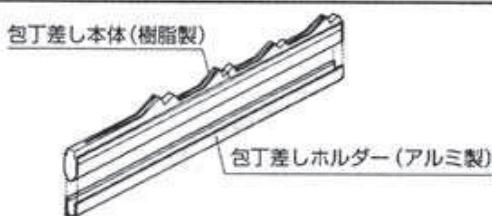
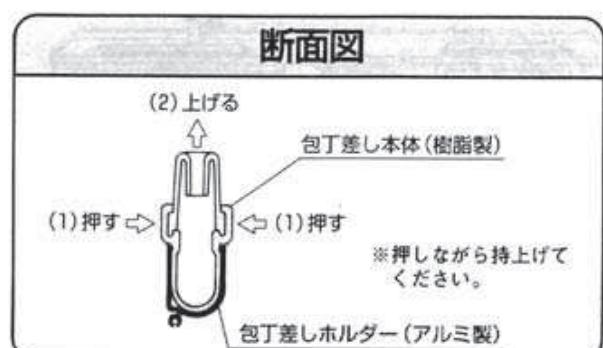


※刃渡り約200mmまで
(菜切り包丁も入ります。) (文化包丁の場合。)



● 包丁差しの取外し

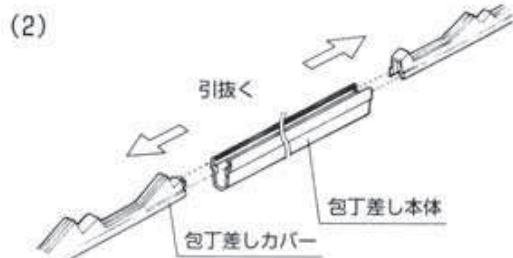
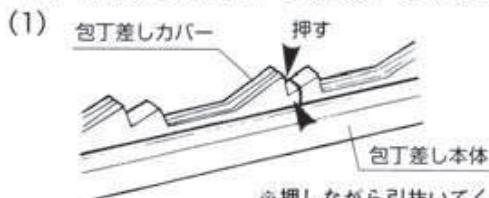
①図のように包丁差しホルダー(アルミ製)から
包丁差し本体(樹脂製)を取り外します。



● 扉のロック

扉中央のツマミを左へスライドさせると包丁フラップ収納の扉にロックが掛かります。
解除ボタンを押しながら右へスライドさせると
ロックが解除されます。

②図のように包丁差しカバーを左右に分割して、包丁差し本体から引抜いてください。



③セットする場合は、取外しと逆の要領で行ってください。

スライド包丁差し (type-W)

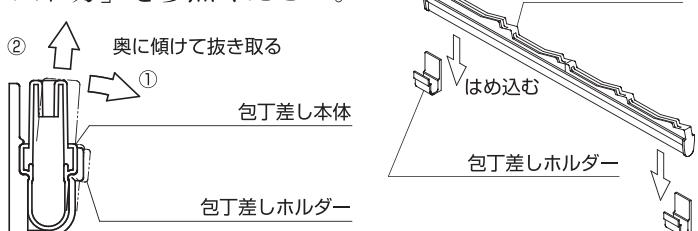
シンクキャビネットの上段部扉裏に4本の包丁を収納できます。包丁差しは取外して丸洗いできます。

●包丁の入れ方

P.5 ④包丁ラップ収納(オプション)の「包丁の入れ方」を参照ください。

●包丁差しの取外し

①右図のように包丁差しホルダーから包丁差し本体を取り外します。
包丁差しをセットする場合は、取外しと逆の要領で行ってください。



②包丁差し本体の分割については、P.5~6 ④包丁ラップ収納(オプション)の「包丁差しの取外し」の②,③を参照ください。

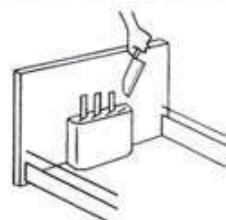
包丁差し (type-S)

シンクキャビネットの扉裏に4本の包丁を収納できます。

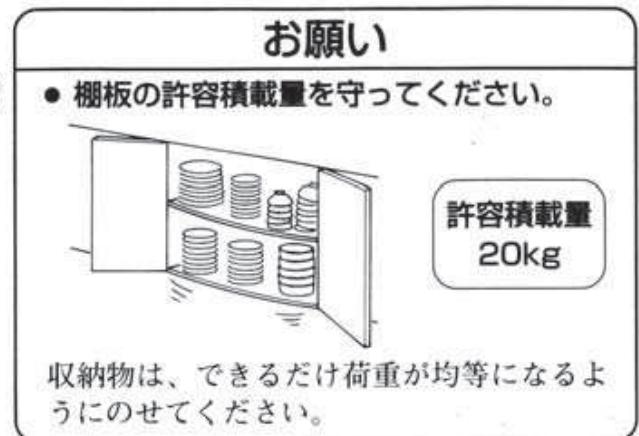
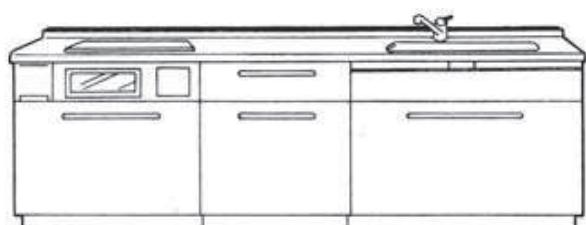
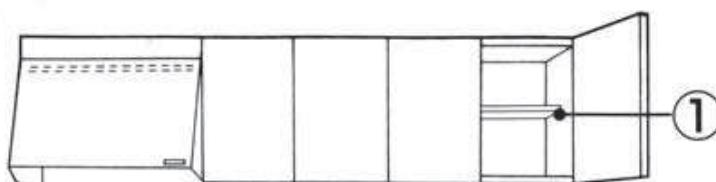
お願い

●包丁を納めるときは、刃先から入れ、中に納まったか確認してください。

落とすと指や手足にケガをするおそれがあります。



3 ご使用方法 (吊戸棚・食器戸棚・カウンターキャビネット)

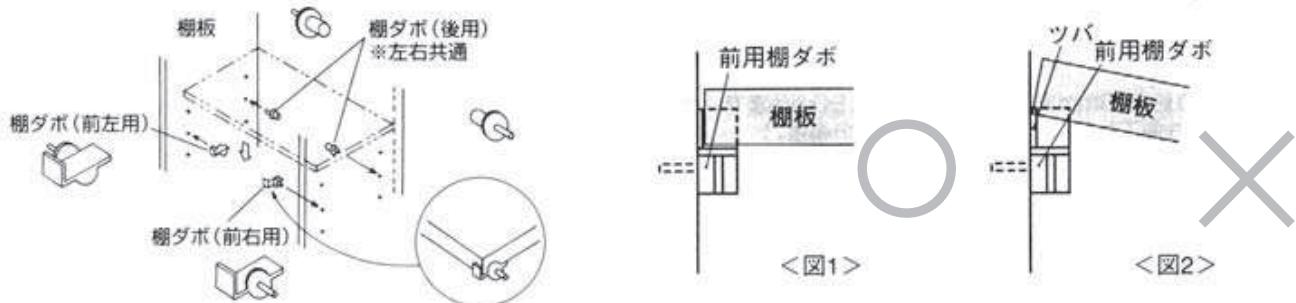


① 移動棚

棚板の高さを収納するものに合わせて調節することができます。

● 棚板の固定

棚ダボを棚受け穴に差込み、<図1>のように、棚板がガタつかないよう水平にのせてください。
<図2>のように棚ダボのツバの上に棚板がのらないように確実にのせてください。



扉キャッチ機構

不意に起こる地震や突然の揺れがきたら、自動的に感知して扉をロックし、収納物の落下を防ぎます。

※地質・建物の構造・階数・ユニットの使われ方により、性能を充分に発揮しない場合があります。

● 通常使用時

- ① 通常使用時、扉は自由に開閉できます。 (図1)
 - ② 震度4~5の地震の揺れが加わるとロックされます。
- ※揺れが続いている状態や、キャビネットが傾いている状態ではロックが保たれます。 (図2)
- ③ 揺れやキャビネットの傾きが直ると、自由に開閉できる状態に戻ります。

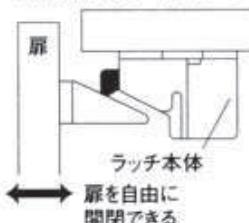
● お手入れ方法

ほこりやゴミがラッチ本体にたまると、誤作動の原因となりますので、水をふくませた布などで拭いて取除いてください。

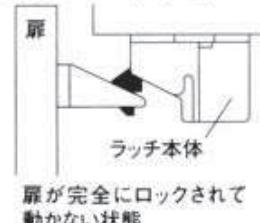
● 作動確認

扉を調整した後、据付説明書を参照して必ずラッチの作動確認をしてください。

■ 通常使用時 (図1)



■ ロック時 (図2)



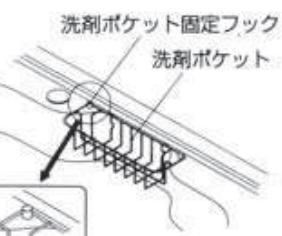
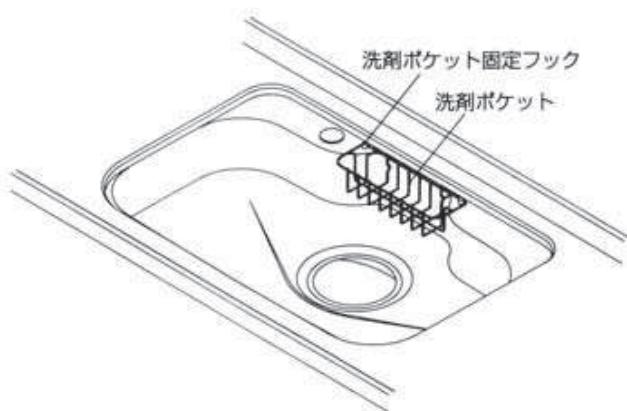
4 ご使用方法（シンク）

洗剤ポケット

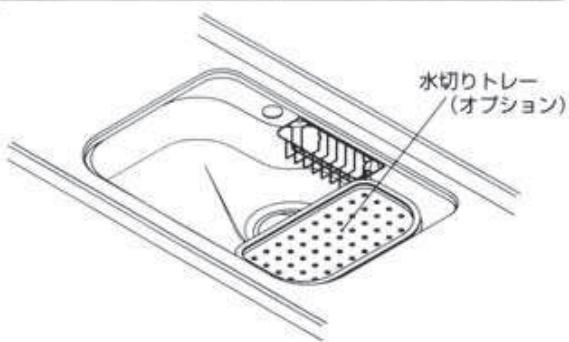
シンク周りの洗剤類を、まとめて収納できます。
着脱式なので、取外して丸洗いできます。

● 取外し・取付け方

洗剤ポケットを固定フックにひっかけて
セットして下さい。



水切りトレー（オプション）



調理のサポートスペースとして、また食器などの水切りにお使いいただけます。

クズカゴ付排水トラップ

● ゴミの収集方法

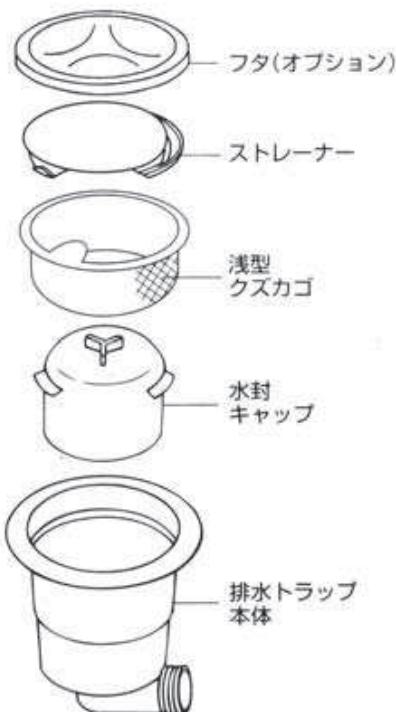
シンクの調理くずや、茶がらなどを水といっしょに流しながら、ストレーナーからクズカゴに押込んでください。

● ゴミの捨て方

ストレーナーを外して、クズカゴを取り出し、充分水を切ってから捨ててください。
クズカゴは、においやヌメリが出る前に、ゴミを捨てていただくように浅型になっています。

● 止水の方法

ストレーナーを外して、フタをセットしてください。
一時的に排水を止めることができます。



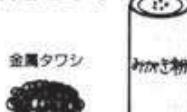
5 お手入れ方法

シンナーやベンジンなどの有機溶剤や漂白剤（塩素系）を使用しないでください。



変形や変色する場合があります。

粒子の粗いみがき粉や金属タワシを使用しないでください。



傷が付くことがあります。

アルカリ性や酸性の強いものを使⽤したり、付着させたりしないでください。



成分が残っていると、劣化や腐食の原因になります。

トップ・シンク

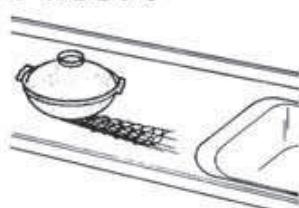
お願い（いつまでも快適にお使いいただく為のポイントです。ぜひ、お守りください。）

直接刃物を使用しないでください。



傷が付きますので、まな板をご使用になってください。

土鍋や洗いおけなどを引きずらないでください。



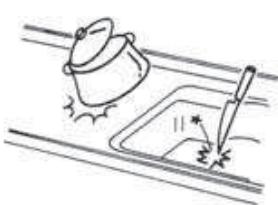
鍋底の凸凹や、シンク内の砂や泥で傷が付くことがあります。

熱いフライパン等を直接置かないでください。



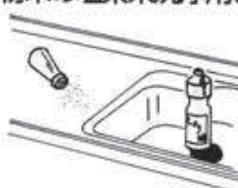
変色、ひび割れ表面が波打つ原因になりますので、鍋敷き等をご使用になってください。

鋭利な刃物や重量物を落とさないでください。



へこみ、ひび割れ、傷の原因になります。

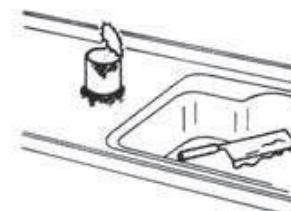
塩、油、調味料や漂白剤（塩素系）、消毒剤などをこぼしたまま放置しないでください。



固形または、粉末の塩素系洗浄剤、漂白剤、消毒剤は使わないでください。

サビや腐食、変色、劣化の原因になります。

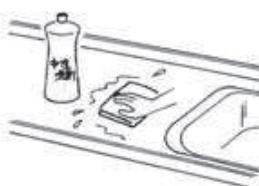
ぬれた包丁、缶詰など、鉄製のものを長時間放置しないでください。



もらいサビの原因になります。

〈普段のお手入れ〉

お湯又は水でうすめた台所用中性洗剤を布にふくませて拭き、水拭きのあと、乾いた柔らかい布で拭いてください。



※ポストフォームカウンターの場合は、お湯又は水拭きのあと、乾いた布で拭いてください。

※水切りプレート（裏側も含めて）も、トップ・シンクと同じようにお手入れしてください。

〈汚れのひどい場合〉

サビが付着した場合、台所用クリームクレンザー（ポストフォーム・カウンターの場合は台所用中性洗剤）をスポンジの柔らかい方にふくませて拭き、水拭きのあと乾いた柔らかい布で拭いてください。



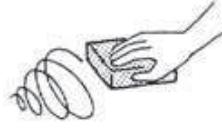
※スポンジのかたい面で拭くと、キズが入るおそれがあります。

〈人造大理石の表面にキズがついた時〉

① 240番の目の粗いサンドペーパーで、キズが消えるまで磨いてください。



② 400番の目の細かいサンドペーパーで軽く磨いて、更にスコッチブライト（ナイロンタワシ）で軽く弧を描くように磨いてください。



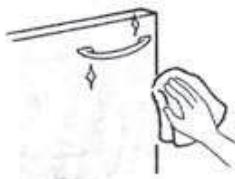
③ スポンジにクリームクレンザーを付けるか、水で湿らせたスコッチブライトで、更に全体を磨いてください。



扉・キャビネット・プラスチック部

〈普段のお手入れ〉

固く絞った布で水拭きした後、乾いた柔らかい布で拭いてください。



● ガラス扉

研磨剤の入っていない市販のガラスクリーナーをご使用ください。

● 天然木の扉

水拭きはしないでください。

月に一回程度、家具用ワックスをかけてください。

〈汚れのひどい場合〉

水でうすめた台所用中性洗剤を布にふくませて拭き、水拭きの後、乾いた柔らかい布で拭いてください。

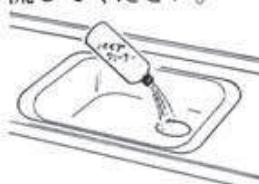
排水トラップ・クズカゴ

〈普段のお手入れ〉

お湯又は台所用中性洗剤で洗い流してください。

時々、排水パイプ用洗剤を使ってお手入れしてください。

※排水パイプ用洗剤は説明書通り正しくお使いください。

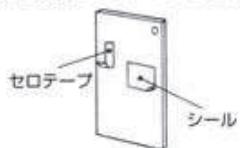


〈プラスチック部〉

トレイや包丁差しをお手入れする際は、熱湯を使用しないでください。変形するおそれがあります。



扉・キャビネットにテープ類を貼らないでください。

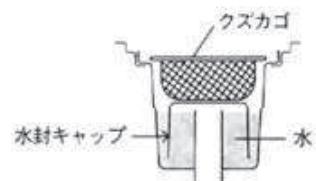


表面がはがれたり、変色や、汚れが落ちにくくなるおそれがあります。

※排水トラップ内の（封水）を切らさないようにご注意ください。

封水が切れると、下水や浄化槽からの悪臭や虫が侵入してくるおそれがあります。

また、浄化槽からの塩素ガスなどで、シンクなどのサビや腐食の原因にもなります。



汚れの種類

水あか・湯あか

水道水に含まれるケイ酸などが蓄積した白っぽくざらついた汚れです。残った水滴により発生し、放置するとやっかいな汚れになります。まめに水気を拭き取ってください。軽い水あかは、台所用中性洗剤をかけ2~3分おいてスポンジでこすり落としてください。

ヌメリ

細菌やカビなどの微生物が繁殖し付着した汚れです。まめにお手入れをして、栄養源となる汚れをためないことで予防してください。台所用中性洗剤で落ちない汚れは粉末の弱アルカリ性洗剤をかけ、しばらくして水で洗い流してください。

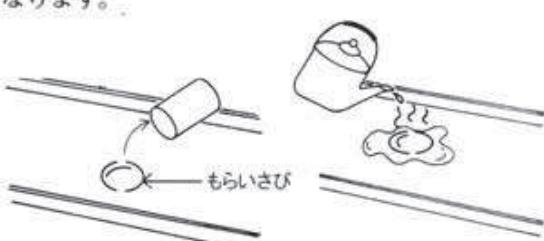
もらいサビ

濡れた缶や水道水に含まれる鉄、外部から入った鉄粉などに発生したサビがステンレスやプラスチックに付着したものです。濡れたものの置忘れにご注意ください。クリームクレンザーをつけたスポンジで、表面を傷つけないよう軽くこすり落としてください。

〈ステンレスのサビについて〉

ステンレスにつくほとんどのサビは、素材自体の腐食ではなく、缶・包丁など金属製品の放置によるもらいサビです。上記の方法で落とすことができ、お湯で温めておくとより落としやすくなります。ただし、ステンレスは全くサビないわけではありません。

通常、ステンレスがサビないのは、表面の薄い酸化被膜によって守られているためです。この酸化被膜は、少しくらい傷がついても自己修復する性質を持っています。しかし、塩素による浸食は修復が追いつかず、むきだしのステンレスが空気に触れることでサビの発生の原因となります。漂白剤など塩素を含む洗剤を使用した場合は、しっかりと洗い流してください。



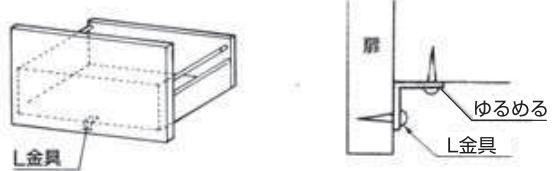
6 調整方法

スライド収納・引出し

[S・Yレール]

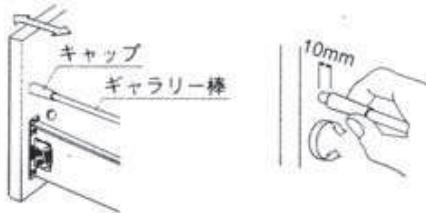
● 調整方法

※スライド収納前板の下部にL金具がついている場合は、固定されているネジをゆるめ、調整を行ってから締め直してください。



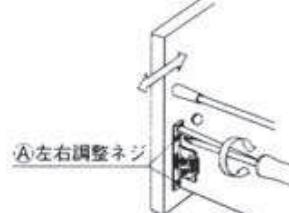
・前板傾き調整

図の位置にギャラリー棒のキャップをあわせて回すと、前板の傾きを調整できます。



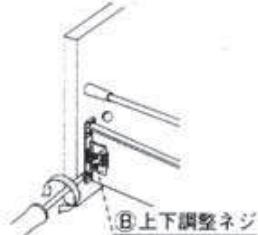
・左右の調整

引出しレール左右のⒶのネジをゆるめ、調整後締め直してください。



・上下の調整

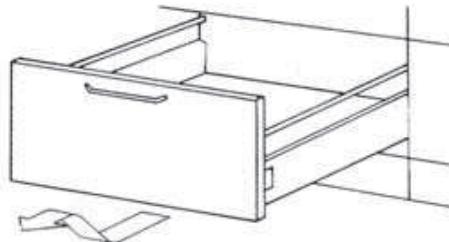
Ⓑのネジを回すと前板の上下を調整できます。



● 取外し・取付け

引出し本体を引きった後、手前を持ち上げて引抜いてください。

セットする時は、取外しと逆の要領で行ってください。



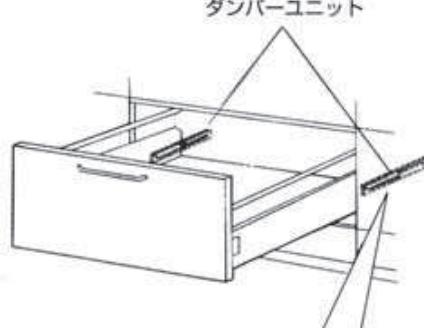
● スローインクローズ(オプション)

スローインクローズ付きの引出しが完全に閉まらない場合、ダンバーユニットのランナーの位置を移動させてください。

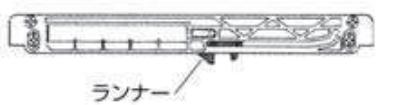
・引出しを引出した状態でランナーが<図1>の位置にある場合、引出しが完全に閉まらないことがあります。

・一度引出しを取り外し、<図2>の位置まで左右両側のランナーを移動させてから、引出しを取り付けてください。

※ランナーが<図2>の位置にあっても引出しが完全に閉まらないときは、扉に物が挟まっていたり、引出しの奥に物が落ちていないかご確認ください。



<図1>



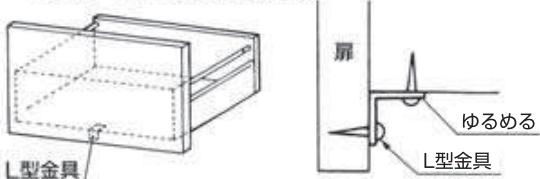
<図2>

[Vレール]

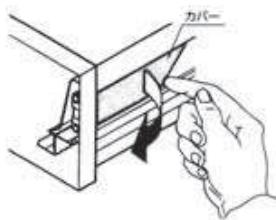
● 調整方法

- ① スライド収納の底板とL型金具でつながれている場合は、固定されているネジをゆるめ、調整を行ってから締直してください。

<スライド収納の場合>



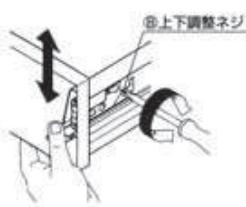
- ② 引出しサイドのカバーを外してください。



● 上下の調整

- Ⓐ のネジを回すと、上下に調整できます。

※ネジが一回転すると、扉は元の位置に戻ります。



● 左右の調整

- Ⓐ のネジを右へ回すと右に、左へ回すと左に調整できます。

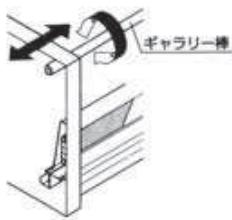
扉の左側からはⒶ のネジを右へ回すと左に、左へ回すと右に調整できます。



● 前板傾き調整

(ギャラリー付の場合)

図のようにギャラリー棒を回すと、前板の傾きを調整できます。



● 取外し

- ① スライド収納を引ききった後、手前を持上げてロックを外してください。(カチッと音がします。)
② スライド収納本体を持上げながら、引抜いてください。



● 取付け

- ① 受けレールを奥まで入れてください。



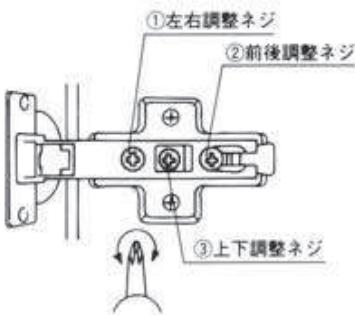
- ② スライド収納をレールに載せて、奥まで押してください。(カチッと音がしてロックが掛かります。)
その後、2~3回開閉して異常がない事を確認してください。



扉

● 調整方法

扉は、左右や前後のズレがないように取付けていますが、お使いになっているうちに扉がガタついたり、微調整が必要になる場合があります。その場合は、ドライバー1本で調整できますので、蝶番の①②③のネジで行ってください。



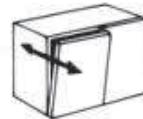
・扉の左右調整

②のネジを締めたまま①のネジを回して調整してください。



・扉の前後調整

②のネジをゆるめ、調整後、締め直してください。



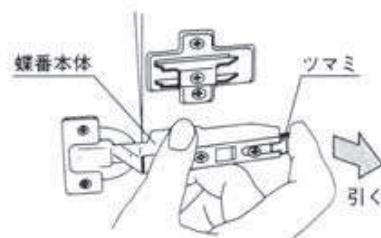
・扉の上下調整

③のネジをゆるめ、調整後、締め直してください。



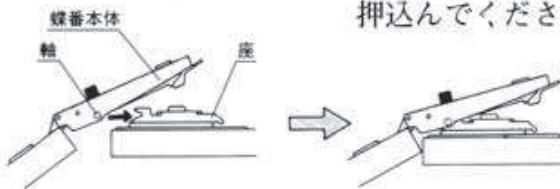
● 取外し

扉を持ちながら、蝶番本体のレバーを引いて、外してください。



● 取付け

蝶番本体の軸を座にはめてください。



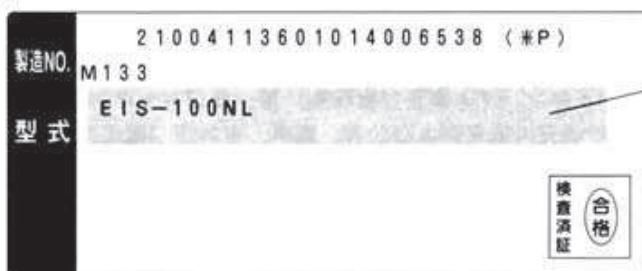
蝶番本体を座にカチッと音がするまで確実に押込んでください。

7 お問合せ

お気付きの点や故障のおきたときは、お買上げ販売店にお問合せください。

なお、ご連絡いただくときは、扉の裏面やキャビネット内に貼付けてあるラベルの型式番号もあわせてお知らせください。

〈見本〉



お客様相談室	千葉県流山市東初石6丁目186-24 ロータススクエアおおたかの森2F-5号室	〒270-0114	TEL (0120)884-115
千葉営業所	千葉県流山市東初石6丁目186-24 ロータススクエアおおたかの森2F-5号室	〒270-0114	TEL (04)7178-3370
関東営業所	東京都立川市若葉町3-25-1		〒190-0001 TEL (042)538-3050
名古屋営業所	愛知県名古屋市西区歌里町357		〒452-0807 TEL (052)505-0803
大阪営業所	兵庫県尼崎市栗山町1-22-39 スカイビル1F		〒661-0013 TEL (06)6422-8221